

「旧民主党の細野議員他を自民党の会派に入れていますが如何  
思われますか？」

平成 31 年 4 月 3 日

●マイケル山田さんからの質問

旧民主党の細野議員他を自民党の会派に入れていますが如何思われますか？静岡 7 区では岸田派議員と二階派細野議員との調整で揉めています。節操のない政治家の存在は自民党の評価を下げるのではないのでしょうか？主義主張が異なるのに政党間を行き来する保身第一のカメレオン議員はいけないと思います。

●西田昌司の答え

私は静岡の現場のことに口を出すつもりはありませんが、自民党はそういった批判を甘んじて受け入れなければならないと思います。

細野さんは自民党批判の急先鋒に立っていましたが、自民党も批判されて然るべき点が沢山ありました。バブル崩壊後、本来は積極財政で国民の生活を守るべきであったのに、橋本政権時に緊縮財政に走ってしまってデフレに突入し、未だにデフレ脱却を果たしていませんし、冷戦崩壊後の世界情勢に対応できていなかった等、自民党にも反省すべき点が沢山あります。また、そういった点について批判をするのは全く自由であるべきです。

しかし、（細野さんが中心の一人であった）民主党に政権交代されてからというもの、彼らは自民党以上に間違ったことをやり続けて日本の社会を混乱させたのです。そのことについての総括もなしに自民党にのこのことやって来たのでは、細野さんをこれまで応援してきた支持者に対して顔向けができないはずです。

これまで散々に批判をしてきた自民党に入るというのであれば、これまでの発言に対してどのように支持者に説明して納得していただくかについて細野さんはしっかりと考えるべきですし、そのような責任も果たさずに自民党に来たところで、都合が悪くなったらまたぞろ他のところに行ってしまうことになるでしょう。

政治家は過去の発言や行動について責任を持たなければなりませんし、これは細野さんに限った話ではありません。自民党が民主党から政権奪還して長期の安倍政権となっていますが、過去の失敗を活かして政策を軌道修正しているかという点、そうはなっていません。(貨幣についての誤解が元の)デフレ不況が続いていますが、未だにその整理ができていないがために正しい経済政策が打てていないのです。デフレ下における財政再建なるものは実は全く意味がないのだということに気が付かない限り、デフレからの脱却はできません。自民党こそがもっと政治に責任を持つべきだと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>